

平成 30 年度第 2 回南区まちづくり懇話会 会議録

1 日時 平成 30 年 6 月 28 日（木） 午前 10 時から正午まで

2 場所 熊本市南区役所 3 階ホール

3 (1) 出席委員

前出委員、小山委員、平井委員、松浦委員、正木委員、吉村委員、岡委員（副会長）、芥川委員、宮澤委員、大澤委員、奥田委員、柴田委員（会長）、大村委員、藤本委員

(2) 出席職員

南区長、区民部長、保健福祉部長、総務企画課副課長、保健子ども課長、福祉課長、飽田まちづくりセンター所長・地域担当職員、天明まちづくりセンター所長・地域担当職員、幸田まちづくりセンター所長・地域担当職員、南部まちづくりセンター所長・地域担当職員、富合まちづくりセンター所長・地域担当職員、城南まちづくりセンター所長・地域担当職員

4 配布資料

資料「南区まちづくりビジョンについて」

5 次 第

(1) 開会

(2) ワークショップ

「いろんな取り組みを連携させよう」

6 ワークショップの結果

農と漁業を誇れるまち

◎南区らしさ。農業はつながる。

復興するまち

- ・食の供給
- ・外の人と一緒に
- ・農業と物流
- ・いろいろな情報の取りまとめ

歴史・文化を育むまち

- ・農×歴史・教育
- ・援農。農×まちづくり
- ・肥後野菜
- ・農業×祭
- ・農家の民家利用。民泊・食事、農作業を体験

自然と共生した住みやすいまち

- ・農道のツーリング
- ・体験する場所の提供
- ・地形を活かして農業が発展
- ・農地×自然
- ・旬と自然
- ・耕作放棄地の活用
- ・米のブランド化(土地の特徴を生かした)
- ・農業用水の由来を知る

みんなが健康で元々なまち

- ・農業体験
- ・高齢の方の地元ならではの伝統食のレシピおこし
- ・農業×漁業。exハマグリ
- ・安全な食
- ・農水産物→健康づくりの食育
- ・新鮮な野菜・魚介で健康に!
- ・農業・漁業・商工業連携による商品開発
- ・物流
- ・特産品のレシピ開発と周知

地域ぐるみで子どもを育てるまち

- ・子ども食堂
- ・農業×子ども食堂
- ・農×遊び。ex舟遊びで笹舟
- ・農業体験×子育て
- ・農業従事(応援)→子育て(託児所の充実)
- ・農家とのコラボによるサロンなど
- ・魚(まるごと)はすごい!(見てみる)切り身でなくおきいてみせる
- ・季節ごとの産物を知る
- ・地産地消のメニュー募集(親子クッキング大会)
- ・身近な野菜の成長を知る(特徴)
- ・農業役員とまちゼンの連携

安全・安心なまち

- ・田んぼ治水(安心安全)
- ・農業×交通(川。舟。鉄道)
- ・空家の活用
- ・休耕地の活用。避難高台(天明・飽田)
- ・生産者のこだわり

歴史・文化を育むまち

◎主体的に!(語り部 カルタ 紙芝居)

復興するまち

- ・祭りの復活(地震で休止)
- ・地震の語り部をつくる(忘れないため)
- ・地震前と地震後の情景を残す

農と漁業を誇れるまち

- ・学校の授業で
- ・農業遺産として扱う。井手・田植え
- ・天明新川をたどる。特に上流地域をたどる
- ・木原かばちゃ→食文化
- ・肥後野菜と地域の歴史を連携
- ・米蔵、船着場
- ・たすのこのひこずり→食文化・歴史
- ・老人食堂で季節料理
- ・地域の伝統料理教室

自然と共生した住みやすいまち

- ・肥後六花を子どもたちと育てる
- ・湧き水めぐり→ホテル
- ・歴史ウォーク
- ・木原不動尊+雁回山の散策

みんなが健康で元々なまち

- ・文化財のまち歩き(健康)
- ・飽田補給水路をたどる。野田→飽田西
- ・塚原古墳でグランドゴルフ大会
- ・いきいき元気クラブで地域の歴史教室
- ・山歩き。たけのこウォーキング
- ・サイクリングロードマップ(平坦な道多い)
- ・なすびの味噌漬ナ→食文化
- ・塩分控えめ料理

地域ぐるみで子どもを育てるまち

- ・家族全員に地域の歴史を伝える
- ・歴史を子どもたちに伝える語り部
- ・伝統文化の子どもへの継承
- ・大人に地域の歴史を教える
- ・校区カルタ。6目標すべて
- ・民話化。民話の継承化
- ・古墳で婚活イベント(名所・名産を紹介)

安全・安心なまち

- ・古墳で親子一泊(防災)
- ・地域の災害の歴史教室
- ・塚原歴史民俗資料館で火おこし体験(災害時)
- ・地形を調べる(歴史的な)
- ・海抜の低いところを確認する

自然と共生した住みやすいまち

◎各校区2つ目玉を！(PR)

復興するまち

- ・震災と地勢の関連を勉強する
- ・自然環境を生かすための地震帯を知る

農と漁業を誇れるまち

- ・日吉東小学校。全学年の野菜作り
- ・5年生の米づくり。田植え・収穫。
- ・河川と農業。水の由来を知る
- ・中無田閘門でイベントの折、富合弁当売り
- ・竹の子、山菜など
- ・地元でとれた野菜レストラン食堂
- ・城南・富合の竹林活用
- ・自然農法を活用した農産品作り
- ・収穫体験
- ・農・漁業の体験。地引網・茶つみ
- ・後継者不足。婚活

歴史・文化を育むまち

- ・歴史自然四半期ごとのバスツアー
- ・雁回山から塚原古墳がつながる道があるの知らない
- ・中無田閘門の活用
- ・雁回山の歴史めぐり。六殿宮・木原不動尊
- ・地域文化の継承
- ・昔の地形を調べる
- ・自然と歴史・文化。中無田閘門一帯の様々な活動

みんなが健康で元気なまち

- ・まち歩き手帳の活用
- ・田畑で泥んこ遊び→田んぼサッカー→もちつき
- ・雁回山と健康(山登り)
- ・サイクリングロードマップ
- ・緑川河川を整備し、スポーツ等への活用
- ・フットパスコースの活用
- ・ウォーキング大会。校区で年一回開催
- ・サロンの設置で住民の交流

地域ぐるみで子どもを育てるまち

- ・緑川でジェットスキーとかしてるけど、もうちょっと気軽に遊びたい
- ・夏休みこ川遊び
- ・塚原古墳で思いきり遊ぶ
- ・竹で風車作り。子どもサロンで
- ・中無田閘門プレイパークの拡大
- ・伝承遊び
- ・田畑で泥んこ遊び→田んぼサッカー→もちつき

安全・安心なまち

- ・土砂災害の防止
- ・河川の安全対策
- ・昔の地形を調べる
- ・町を歩く。通学路点検
- ・緑川河川を整備
- ・おもちゃを持って高齢者宅訪問

3

みんなが健康で元気なまち

◎ウォーキング (健康づくり。ハザードマップの再活用。危険箇所の確認。見守り)

復興するまち

- ・仮設住宅入居者との交流の場をつくる
- ・復興めぐり歩き
- ・遊歩道の復興整備して、健康のため山歩きを
- ・防災宿泊体験。ラジオ体操
- ・ウォーキングコースを作る
- ・フォトロゲイニング

農と漁業を誇れるまち

- ・ひご野菜を使ったヘルシー料理教室。子ども会。
- ・農業・漁業体験
- ・健康まちづくりで春は筍掘りをしている
- ・農業者多忙で健康づくりの機会が少ない
- ・農業＝体動かす→健康づくりではない。
- ・地域で無農薬野菜にとりくむ。個々人で作っても効果が出にくい→地域で

歴史・文化を育むまち

- ・地元文化財がある。開放が出来ていない。開放すること...
- ・健康ウォークで名所・旧跡等を散策
- ・南区は歩道の整備状況は？

自然と共生した住みやすいまち

- ・雁回公園緑川運動広場等の活用
- ・緑川河川敷の活用→今は使いにくい
- ・行政でもう少し整備→ウォーキングなどに活用
- ・自然を活用した健康づくりが国交省につながらないのがネック

地域ぐるみで子どもを育てるまち

- ・高齢者と子どもの交流の場を作る
- ・自治会と一緒に作業出来る。電柱に巻きついてる。
- ・子ども部活で4、5、6年生帰り遅くなる。基地に通学路。地元で大きくなった木枝下し。まちづくりセンターに相談。
- ・夏休みにあるラジオ体操を子ども・高齢者・地域住民みんなで参加
- ・夏休みは地域の子どもたちとおやつ作りなどで交流をする
- ・まちづくりで地域サロンで3月より月1回6月まで4回行って皆様に喜ばれている

安全・安心なまち

- ・青バトが巡回で子ども達との交流が深まっている
- ・高齢者支援。
- ・散歩・ウォーキング・サイクリングしやすい環境整備
- ・散歩・ウォーキングをする時、ビブスを着用することで見守り隊的な役割
- ・↑不審者扱いを防げる効果を
- ・健康まつり開催。民生委員、ささえりあ等と協力して自治会で開催(見守りにつながる)
- ・ウォーキング+健康まつりイベントを併せて集客↑
- ・役員だけでなく、子ども・高齢者目線のハザードマップを一緒に歩いてつくる

4

地域ぐるみで子どもを育てるまち

◎ナイストライの農業体験

(天明は実施中。他の地区も地域と連携して実現を！)

◎子どもが直に体験できるイベント

復興するまち

- ・地域の避難所を利用して防災体験キャンプをする
- ・ボランティア等、復興への手助けを

農と漁業を誇れるまち

- ・漁業・農業体験
- ・農・漁業の体験
- ・料理教室等に地域の食材を使う(家庭教育学級)。子育て。
- ・畑を体験。物を作る。
- ・ナイストライで農家体験ができるといい(地域をこえてやれるといい)
- ・子供・婦人会・老人会(徳育三代)→地元食材での食事、熊本の偉人の話。
- ・特産品を使った子ども料理教室
- ・船に乗る。土をさわる。

歴史・文化を育むまち

- ・遊びの中で歴史に触れるイベント
- ・自分の町の成り立ちを知る
- ・昔話を知る。聞く。
- ・高齢者宅への訪問、声かけ、対話
- ・天明や飽田まで水路がつづく。歴史を知るきっかけになる
- ・年間を通して祭りを知る。体験する。
- ・祭りの体験→地域に伝わるおもしろいものがあるはず！
- ・婦人会で子どもたち(こじゅず)珠収穫体験をしている。もちつきとかお手玉。
- ・塚原古墳→楽しんで体験できるといい。
- ・直接触れることが大切
- ・体験を通して親同士のつながりもできる
- ・親子歴史ウォーク
- ・祖父母から孫へ伝承遊び
- ・塚原古墳も。遠足とかで楽しい。
- ・楽しんで体験できるといい

自然と共生した住みやすいまち

- ・自然を利用した遊び場を増やす
- ・自然を生かしたプレイパーク
- ・自然を生かしたアスレチック
- ・中無田開闢の活用
- ・緑川は長い→南区のどこでも体験できるといい
- ・子どもが自然を体験できるイベントがあるといい
- ・地域を好きになるようなイベント開催

みんなが健康で元気なまち

- ・親子ラジオ体操
- ・ウォーキング大会
- ・町内の運動会への参加(横のつながり)
- ・保育園の体操の時間に高齢者の方も一緒に参加する
- ・街道ウォーキングが人気。天明新川を利用しては。
- ・夏休みの朝のラジオ体操に高齢者や地域住人も参加

安全・安心なまち

- ・登下校時の見守り
- ・防犯パトロール
- ・登校時間に自宅の前であいさつ運動をそれぞれでやる
- ・まちを親子で歩く！！安全点検
- ・ハザードマップづくりに子どもも入る
- ・子供目線のハザードマップをつくる
- ・顔見知りを増やす
- ・危険場所の確認
- ・不審者情報の共有

商業

- ・地域商店が子どもさん方を見守る役割

5

安全・安心なまち

◎イノシシ対策

復興するまち

- ・道路の整備
- ・企業より食材の提供。子供サロンへ
- ・水災害時、自家水道調査した。池ある家多く、トイレ・洗い水にはなる
- ・防犯灯が少ない

農と漁業を誇れるまち

- ・野菜を子どもサロンに届く
- ・シビエ料理に出来ないか？(イノシシ)

歴史・文化を育むまち

- ・伝統文化・子ども文化祭の開催(高齢者・子ども見守り)
- ・災害の歴史を振り返る
- ・日吉東まつり(昨年より)
- ・六殿宮他の手入れ・保存は？
- ・伝承遊びを年一回。学年を決め、収穫からお手玉作り

自然と共生した住みやすいまち

- ・災害時の危険箇所の共有
- ・通学路にイノシシ出る。対策を。鈴もたせる
- ・通学路の太木。自治会・地元+行政の支援必要
- ・イノシシ農作物荒らす

みんなが健康で元気なまち

- ・百歳体操立ち上げ
- ・老人会のいきいきサロン。月二回
- ・健康まつり開催(高齢者の地域の見守り)

地域ぐるみで子どもを育てるまち

- ・飽田地区での火の国まつり参加(子どもの見守り)
- ・ブロックにご用心！
- ・青パトでの見守隊活動
- ・防犯パトロール。地域の見守り
- ・登下校の見守り。自主ボランティア
- ・不審者情報の共有
- ・下校見守り
- ・徳育三代でのつながり
- ・子どもサロン。地震後立ち上げ
- ・夜間パトロール
- ・地域ハザードマップ作りに子どもも参加する

商業

- ・地域の商店が高齢者の支援を行う